

特別講演会 羽場 宏光

時 間： 13:00-14:00

場 所：鈴木梅太郎ホール（筑波 TV 会議）

1.研究室名

仁科加速器研究センター 応用研究開発室 R I 応用チーム

2.タイトル

『ニホニウム誕生』

3.講演の概要

2016年11月28日、国際純正・応用化学連合（IUPAC）は、理研の森田グループが発見した113番元素の元素名をニホニウム（元素記号Nh）に決定しました。元素の周期表に、待望のアジア初、日本発の新元素が誕生しました。IUPACは、ニホニウムと同時にロシアとアメリカの共同研究グループが発見した115番元素モスコビウム（Mc）、117番元素テネシン（Ts）、118番元素オガネソン（Og）の3元素も決定し、これによって周期表の第7周期までが完成するという元素発見史上最大級の成果となりました。この講演会では、ニホニウムの探索開始から命名まで、13年間にも及んだ森田グループの新元素探索プロジェクトについて解説いたします。118番までの元素発見の歴史を紐解きながら、周期表と核図表、人工元素のつくり方、新元素の性質などについても解説いたします。

図. 元素周期表（一部）

47 銀 Ag	48 カドミウム Cd	49 インジウム In	50 スズ Sn	51 アンチモン Sb	52 テルル Te	53 ヨウ素 I	54 キセノン Xe
79 金 Au	80 水銀 Hg	81 タリウム Tl	82 鉛 Pb	83 ビスマス Bi	84 ポロニウム Po	85 アスタチン At	86 ラドン Rn
111 レントゲニウム Rg	112 コペルニシウム Cn	113 ニホニウム Nh	114 フレロビウム Fl	115 モスコビウム Mc	116 リバモリウム Lv	117 テネシン Ts	118 オガネソン Og